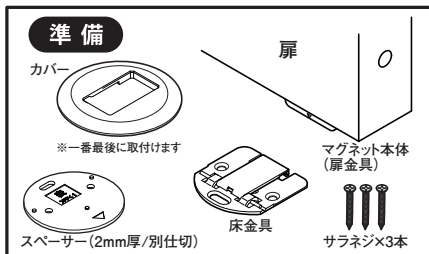


# ドアストッパー・ビルトインタイプ<sup>PAT</sup> 取付施工手順書

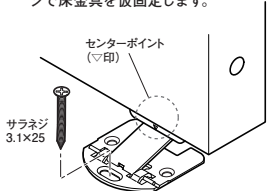


取付時のご注意

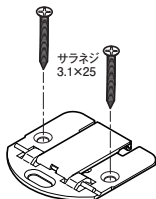
【クッションフロア、カーペット上直付禁止】 床金具をクッションフロア、カーペット等の上に直接取り付けしないでください。取付面が不安定なため、正常な動作を妨げ、故障や事故の原因となります。取付の際には別仕切品のスペーサーをご使用ください。  
 【取付位置】 戸先から100mm以内に取り付け、本体の上下調整を行なってください。  
 【電動ドライバーによる締め込み禁止】 固定ネジの締め込みは、手動ドライバーで行なってください。



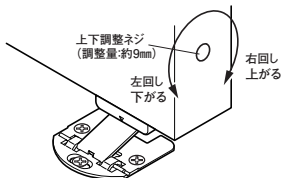
**1** 床金具を仮固定します  
 マグネット本体の前面にあるセンターポイント(▽印)を目安に床金具のセンター位置を合わせ、サラネジで床金具を仮固定します。



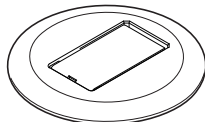
**2** 床金具を本固定します  
 位置が決まったら、サラネジで床金具を固定します。



**3** 扉金具の高さを調整します  
 ドアを開閉し床金具のヒンジを確実にキャッチできる高さにて、調整ネジで上下調整を行います(左に回すと下がり、右に回すと上がります)。  
 注) 床～扉のスキマは8~17mm以内とし、床～マグネット本体のスキマを調整ネジにて、8~11mm(推奨8mm)の範囲に収まるよう、調整してください。



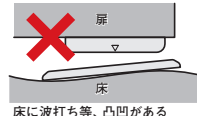
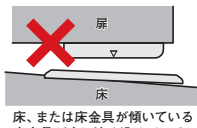
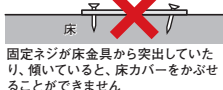
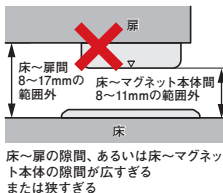
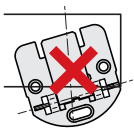
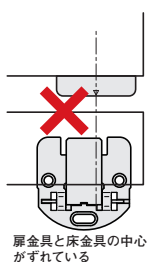
**4** カバーをかぶせて取付完了  
 カバーを床金具にしっかりとめ込んでください。



## NG施工例

下図のような取付方は、キャッチ機能が正常に働かず、装置や、扉・取手・壁・床等の周囲部材に破損を生じる原因となりますので十分ご注意ください。

※必ず戸先から100mm以内に取り付けて下さい。吊元側への取り付けは、絶対に厳禁です。装置や周囲部材の破損につながります。



### 【使用上のご注意】

- 扉～マグネット本体の隙間が設定範囲を超えて広い場合、ヒンジをキャッチできなかつたり、起き上がったヒンジが反対側に倒れ、破損する恐れがあります。また狭すぎる場合は、ヒンジをキャッチできません。必ず所定の設定範囲内でご使用ください。
- 本製品は仮固定用の装置であり、アオリ止めではありません。突風におおられた扉を保持することはできません。
- 突風や、限度を超えて勢いがついた扉をキャッチすることはできません。
- 上記要因、誤操作、施工不良、分解・改造による故障に対し、当社は一切の責任を負わないものと致します。
- デザインや仕様は、予告なく変更することがあります。

株式会社 中尾製作所